



卒業生インタビュー

庄原青年会議所  
2025年度 第61代理事長  
**伊藤 裕樹**  
西城運輸砕石㈱



卒業生インタビュー

庄原青年会議所 監事・  
第43回庄原よいこ祭  
実行委員長  
**三浦 益隆**  
三浦益隆法律事務所



思い出に残るJC活動を教えてください

やっぱり自分が行った事業の「ステイスト庄原」です。前段の「西城みらいミーティング」という事業では、問題を共有し庄原の人口減少問題について向き合うチームを作りました。そこで実際に移住してきた方を交えディスカッションを行いました。それを基に「ステイスト庄原」では発信力のあるYouTuberに1週間ホームステイをしてもらい、庄原の良さを発信してもらいました。

事業の間、こちらの思い通りにいかないことがあったにもかかわらず庄原を気に入っていただき、再度来訪してくださったりと色々な思い出のある事業でした。



「ステイスト庄原」

後輩JCメンバーへ

JCは本業の仕事しながら、家庭もあつての活動だから大変です。これは今になって思うことですが、やっぱり後ろ向きな気持ち、ネガティブな感覚を持ちながら活動すると自分に返ってくるものも少ないです。私自身も理事長を務めることになった時も、「大変だろうな、しんどいかもな」などと思いつつ過ごすこともありましたが、途中で、「これはもったいないな、こんな経験は本当に一生できないな」と思いました。

色々なプレッシャーなどあると思いますが、せっかくなのであれば何事も楽しんでやってほしい。2度目はないのでしっかり楽しみながらやってほしいです。

思い出に残るJC活動を教えてください

私自身も庄原ジョブガイダンスなど、様々な事業を行ってきましたが、思い出に残ったJCの事業は、伊藤理事長が担当された「ステイスト庄原」が印象に残っています。YouTuberに一週間庄原に住んでもらって、その様子を発信してもらう事業で、本当に企画の段階から凄いなと思っていました。

YouTuberを庄原に招致し、動画を上げてもらうことで庄原のPRになり、買い物などは「なみかカード」を使用させていただくことで、庄原地域にも貢献できるという、一つの事業が三重四重にも大きな効果をもたらしていた事業だったため、とても印象に残っています。



「庄原ジョブガイダンス」

後輩JCメンバーへ

後輩に対して伝えたいことは、JCは本質がしっかりしています。その本質を大切にしてください。対象者にどうなって欲しいかを考え、意識変革団体として、人を感動させる事業をしてください。そして心と体に気を付けていただきたいです。自分に余裕がないと良い活動はできません。仕事と家庭の両立があつてこそ、JCの活動があると思います。特に体に気を付けて欲しい後輩が多いため、体は本当に大切にしてください。

私は後輩達を信頼しています。最後に「心を燃やせ」「歯を喰いしばって前を向け」この言葉を送りたいです。



一般社団法人庄原青年会議所 2025年度 第61代理事長 伊藤 裕樹

本年度も庄原青年会議所の活動に多大なるご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年度、庄原青年会議所では「馳せる」をスローガンとして様々な運動を進めてきました。社会課題や子どもたちのこと、物事の奥深いところ、人の思いに思いを馳せ、寄り添っていききたい、そのような思いで活動してまいりました。

また、本年、庄原青年会議所は創立60周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご理解とお力添えの賜物であり、心より感謝申し上げます。思いは来年度に引き継ぎ、よりよいまちづくりのために邁進いたします。今後とも、変わらぬご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



挑戦や経験を積みたい方大歓迎!!

一般社団法人

入会資格/満20歳以上40歳未満

## 庄原青年会議所 会員募集中

〒727-0011 広島県庄原市東本町1-2-22 商工会議所内  
MAIL / sjci@mx4.tiki.ne.jp FAX / 0824-72-9116



ホームページ



Facebook



Instagram

編集後記

総務広報共創委員会委員長

清水 慎之助

2025年度最後となる今月は、卒業される伊藤理事長と三浦監事にインタビューさせていただきました。

お2人に、JCでの1番思い出に残っている事業と後輩へのメッセージをお聞きすることで、卒業生の青年会議所活動に対する思いや姿勢を私自身が学ぶことができました。

また、1年間で見たくださった皆様本当にありがとうございました。

『LIGHT』には、「まだ見えない光を求めて限界突破」の「光」と「JCI会員にもスポットライトが当たるように」の2つの意味が込められています。



[7月度例会事業] JC×財政 ~庄原市のお財布を考える~

担当/地域連繫委員会 委員長  
延藤 真一

本事業は、普段触れる機会の少ない庄原市の「財政」について理解を深める事を目的とし、勉強会を開催しました。当日は事前にお声がけたJCメンバー以外の方にもご参加いただき、まず座学で基礎知識を学んだ後、テーマごとに分かれて意見交換を行いました。

講師には木村副市長と、市役所財政課の福本課長をお招きし、財政に関する用語や考え方を大変わかりやすく解説していただきました。改めまして心より感謝申し上げます。

また今回は、参加した高校生からも積極的な質問が寄せられ、庄原市の財政を自分の事として捉えようとする姿勢に、私たちも大いに刺激を受けました。若い世代の視点加わることで、議論に一層深みが生まれたことも印象的でした。

庄原市のいわゆる“お財布事情”を知ることは、今後のまちづくりの方向性を考えるうえで欠かせません。広島県内の状況も踏まえ、幅広い指標をご紹介いただいたことで、現状を多角的に捉える有

意義な時間となりました。

今回の勉強会を通じ、私たちの活動が「まちをより良くするために何ができるのか」を考えるうえで、新たな視点や判断材料を得る貴重な機会となったと感じています。



[9月度例会] 登魂一心 ~最高の景色を見るために~

担当/総務広報共創委員会 副委員長  
宇山 強

本事業は、総務広報共創委員会 宇山副委員長が担当し、県立広島大学生物資源科学部の楠堀准教授に講師としてご協力いただきました。組織論を交えたセミナーを行い、チームとしての考え方や行動を見つめ直したうえで登山に臨み、組織としてのチームワークの醸成を図ることを目的とし開催いたしました。

9月24日(水)に庄原商工会議所2階会議室で楠堀講師の指導の下、メンバー間での声の掛け方や指示の方法を学びました。そして学んだ事を踏まえて、実際に体を使った課題解決に向けての取り組みを体験しました。

9月27日(土)には天候にも恵まれ、快適な気温の中で登山を

施することができました。入山前には持ち物の分担や隊列を話し合い、登山中は体力的に苦しいメンバーを励まし合い、全員無事に登頂することができました。

下山後には楠堀講師から「脱落者を想定していたが、一人も出なかった。青年会議所メンバーにはさらに負荷をかけても良いと感じた。行動力や体力は十分だが、繊細さや慎重さが加わればさらに良い集団になる。今後に期待します」との激励をいただきました。

今回の事業では、ケガをしたり脱落者もなく、全員が達成感を胸に無事帰路につくことができました。

今後も庄原青年会議所メンバー一丸となって活動を続けて参ります!

